最初にお読みください

Panasonic



パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-E1

98



WiLL PC

セットアップ編

セットアップ・Windows 入門

説明書の構成

取扱説明書

セットアップ編 本書

コンピューターを使うための準備作業について説明しています。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を具体例を通して説明しています。

活用編（本体）

安全上のご注意などの取り扱いについてやオンラインマニュアルの使いかた、便利な機能、機能の拡張方法などについて説明しています。

活用編（アプリケーション）

インターネットや電子メールの基本操作、動画や静止画の取り込み、DVDビデオディスクの再生など、アプリケーションソフトについて説明しています。

オンラインマニュアル

画面上で表示できるマニュアルです。
オンラインマニュアルの見かたについては、取扱説明書『活用編（本体）』をご覧ください。

困ったときの Q&A

本機が思ったように動かないなど、困ったときの対処法をQ&A方式で説明しています。

パソコン・サポートとつきあう方法

初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）

内蔵モデムコマンド一覧

内蔵モデムのコマンドを使って通信する場合にご利用ください。

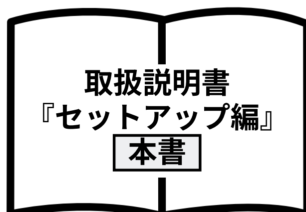
上手に使って上手に節電

はじめに

ご使用にあたって、取扱説明書『活用編（本体）』の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本製品を安全にお使いいただく上で大切な情報が記載されています。

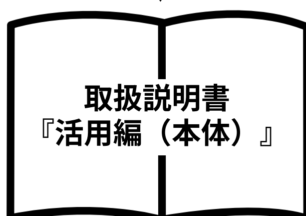
取扱説明書の効果的な使いかた

1



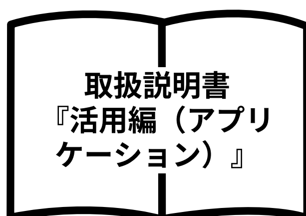
本書では、Windows（ウィンドウズ）をセットアップし、コンピューターを使用できる状態にするまでを説明しています。
初めてのかたは、「Windows入門」を説明の通りに操作すると、Windowsの基本操作を体験でき、下記説明書の内容を理解しやすくなります。

2



この説明書では、本機を使用していく上での留意点、各部の働き、便利な設定や周辺機器の拡張など、総合的な内容を説明しています。
オンラインマニュアルの使い方についても、この説明書をご覧ください。

3



この説明書では、インターネットや電子メール、DVDビデオの再生など、いろいろな働きをするアプリケーションソフトについて説明しています。必要に応じて『活用編（本体）』もご覧ください。

コンピューターが思ったように動かないとき	⇨	オンラインマニュアル 困ったときのQ&A 取扱説明書『活用編（本体）』困ったときのQ&A
ご相談窓口を利用する前に	⇨	オンラインマニュアル パソコン・サポートとつきあう方法
モデムのATコマンドを使って通信をするとき	⇨	オンラインマニュアル 内蔵モデムコマンド一覧

表記の約束

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
（例） N み は N や み と表記します。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「＋」を使って表記します。
（例） Alt ＋ 半角/全角 ： Alt を押しながら 半角/全角 を押します。

もくじ

機器の接続

Windows（ウィンドウズ）の準備

Windows入門（初めてのかた）

付属品を確認しましょう

コンピューター本体以外に下記の付属品があります。万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

スタンドアップキーボード*.. 1個	マウス（スクロール機能付き） 1個
* 以降は、略して「キーボード」と記載します。	

電源コード 1本	モジュラーケーブル 1本

Windowsパック 1部	クランパー 1個	イジェクトピン 1本
ファーストステップガイド プロダクトリカバリーCD（2枚） 登録カード		

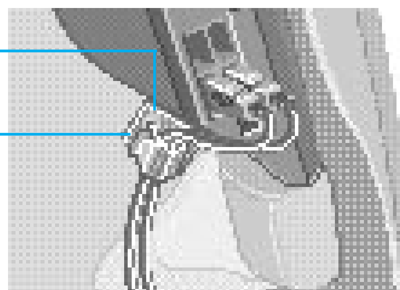
取扱説明書 3冊	その他の印刷物
セットアップ編 活用編（本体） 活用編（アプリケーション）	●保証書 ●ご愛用者登録のお願い ●Hi-HOのご案内 ●ニフティのご案内 ●ユーザーフォーラムのご紹介 ●困ったときのチェックシート ●筆ぐるめのご案内 ●筆ぐるめユーザー登録はがき ●松下パソコン保険のご案内

クランパーの使いかた

接続しているケーブルを束ねることができます。

①図の位置にクランパーを貼り、ケーブルを中に通す

②この部分をミゾにはめ込む



付属品は大切に保管してください

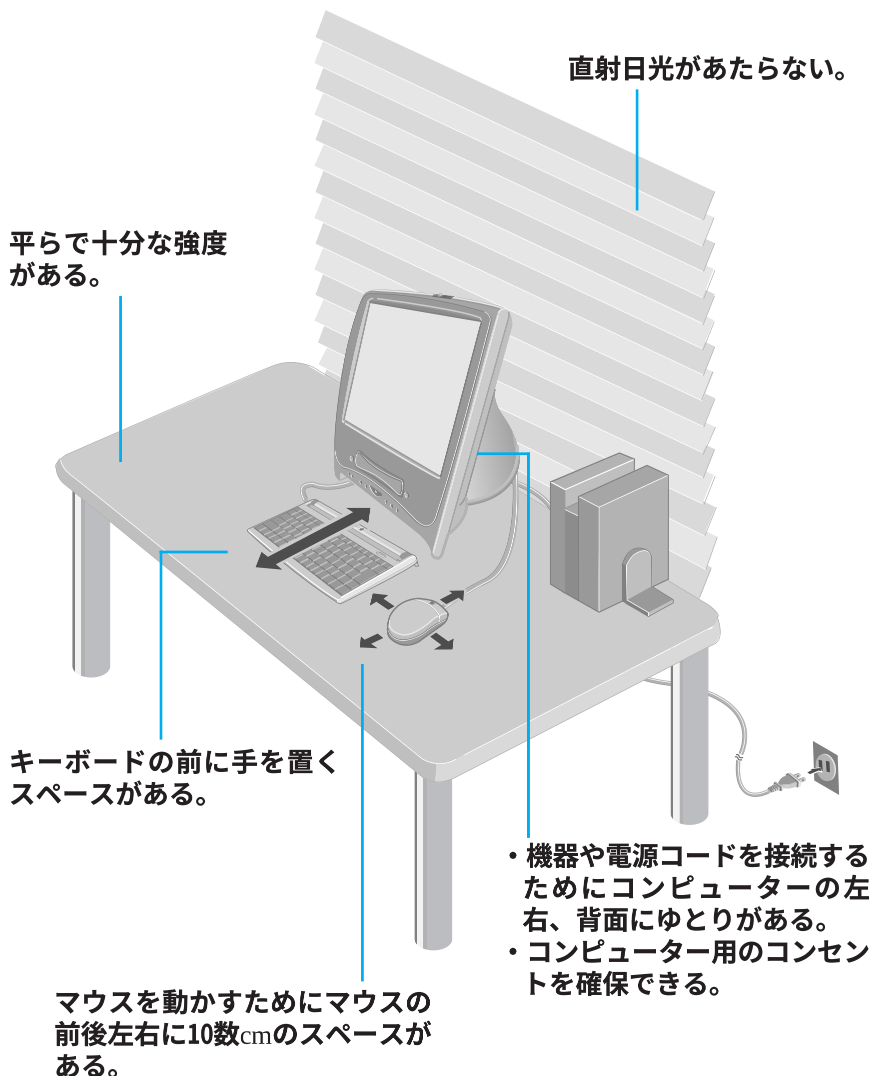
付属品を紛失しないようにしてください。

とくに、再インストール後*にセットアップ（→7ページ）を行う際にWindowsパックがないと、コンピューターを使用できなくなります。（再インストール→『活用編（本体）』「再インストールのしかた」）

機器をつなぎましょう

コンピューターを置く場所を決めます

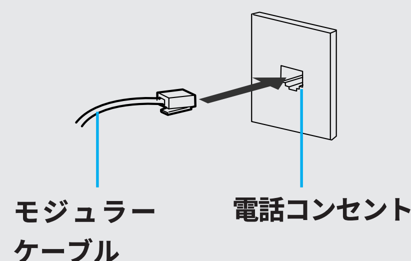
快適に操作ができるように、次の点に留意して置く場所を決めましょう。



お願い

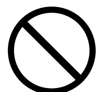
次のものからは、十分に離して置いてください。
- ●磁気を発生するもの、磁気を帯びているもの（スピーカー、磁石など）
- ●テレビ、ラジオ、コードレス電話など（雑音が入ることがあります）
- ●水などの入った容器

インターネットを使用する場合
- ・電話コンセントの近くに置きます。（付属のモジュラーケーブルの長さは約3mです。）
- ・電話コンセント、または電話回線の種類を確認しておいてください。（→『活用編（アプリケーション）』「電話回線に接続する」）



⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない


禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない


ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源コード･電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）


禁止

傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。

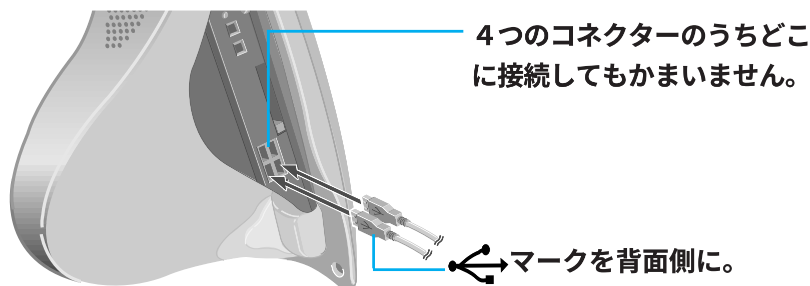
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

※このほか、『活用編（本体）』の「安全上のご注意」をよく読んでご使用ください。

機器をつなぎましょう

キーボードやマウスをつなぎます

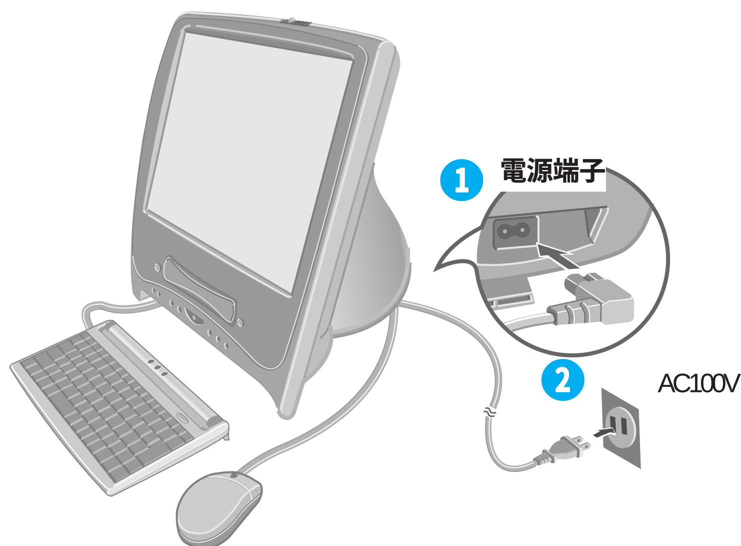
1 USBコネクターにキーボード、マウスをつなぐ。



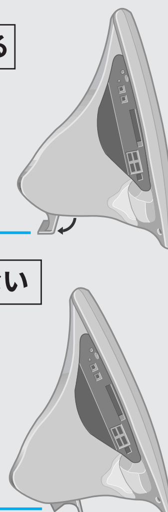
◀USB コネクター
残りの２つには、フロッピーディスクやプリンターなどのUSB対応の機器を接続できます。（→『活用編（本体）』「USB機器を使う(外部FDDなど）」）

2 電源コードをつなぐ。

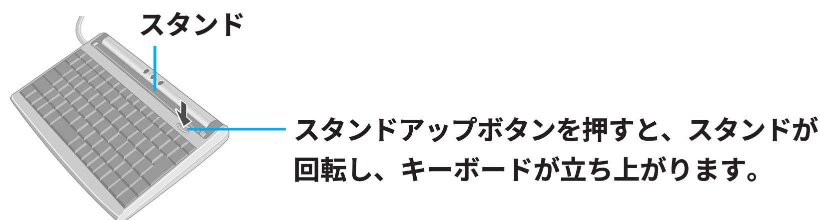
『活用編（本体）』の「ソフトウェア使用許諾書」を読んだ上で電源端子に貼られたシールをはがし、接続してください。



◀コンピューターの２通りの置き方
スタンドの開閉は電源を切った状態で行ってください。また、スタンドのセットが不完全で不安定な状態で使用しないでください。



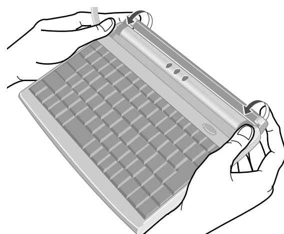
3 キーボードのスタンドを立てる 。



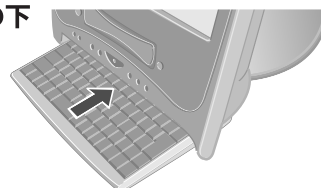
お願い
キーボードとマウス以外の周辺機器などを接続する場合、次ページ以降のセットアップが終わった後に接続してください。
（→『活用編（本体）』「拡張」）

キーボードを使わないときは

①キーボードの両端を持ち、スタンドを手前に回転させて、元の位置に戻します。



②コンピューターの下にしまいます。



電源を入れてWindowsの準備をしましょう（初回のみ）

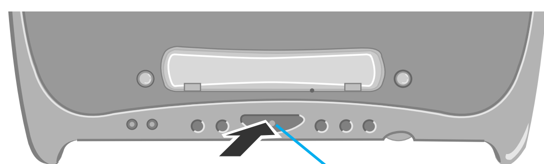
キーボードとマウス、電源コードの接続ができたら、いよいよ電源を入れます。

電源を入れて Windows をセットアップします

コンピューターを使うには、最初に1回、使用者の氏名やコンピューターの識別番号などを入力する必要があります。これをWindowsのセットアップといいます。

1 電源ボタンを約1秒間押す。

電源表示ランプが点灯したことを確認して、手を離してください。



電源ボタン　電源表示ランプが緑色に点灯する。



しばらくすると次の画面が表示されます。



ここでは、チュートリアル（文字入力のレッスン）をせずに、次のステップへ進みます。

2 キーボード左上の Esc を押す。

（次ページへ続く）

お願い

- 画面に変化がなくても内部ではコンピューターが動いています。左の画面が表示されるまでお待ちください。
- この後、Windows（→下記「用語」）のセットアップが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。（セットアップ終了まで約10分かかります。）

◀チュートリアルを使って文字の入力練習をする場合、M を押し、画面の指示に従って操作してください。

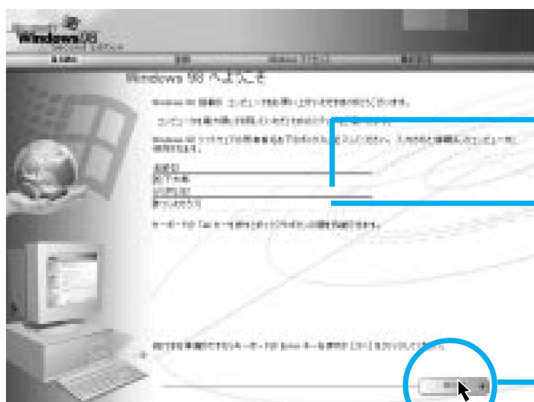
画面の明るさや音量を調節するには
→15ページ

用 語

Windows　：コンピューターを動かしたり、使用環境を整えたりする上で、なくてはならない基本システムです。ウィンドウ（窓）のような小画面を画面上に開いて操作するので、「ウィンドウズ」と名付けられています。（正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemです。本書では、WindowsまたはWindows 98と表記します。）

電源を入れてWindowsの準備をしましょう（初回のみ）

3 所有者の名前を入れる。



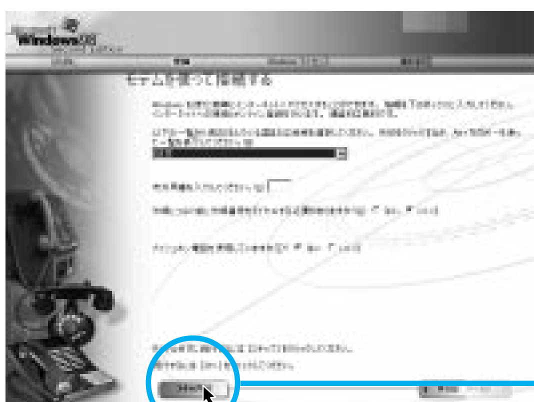
1 名前を入れる。

2 ふりがなを入れる。

3 マウスを動かして矢印を合わせ、マウスの左ボタンをカチッと１回押す。
（クリック）



「モデムを使って接続する」はここでは設定しません。



[スキップ]を クリック





1 [はい]を クリック

2 [次へ]を クリック

（10ページへ続く）

文字の入力のしかた
マウスの使いかた
　→次ページ

◀名前はニックネームや略称などでもかまいません。

◀「ふりがな」は入れなくてもかまいません。入れる場合は、Tabを押し、「ふりがな」欄にカーソル（点滅する”Ｉ”）を移動します。

◀以降の手順で クリック と書かれていたら、*3*の**3**と同様の操作をしてください。

◀インターネットを使用するには、電話回線など、多くの設定が必要です。本機はこれらの設定が簡単にできる「インターネットスタータ ー」を用意しています。Windowsのセットアップが終わった後で、別途行ってください。（→『活用編（アプリケーション）』「インターネット」）

お願い

必ず、[スキップ]をクリックしてください。

お願い

必ず、[はい]をクリックしてください。

◀「はい」の文字、または左横の○をクリックすると、◉になります。

用語

カーソル（Ｉ）　：その位置に文字が入力できることを示します。

文字の入力のしかた(→詳しくは 18 ページ)

(→詳しくは 18 ページ)

①[Alt]＋[半角/全角]を押すと、ひらがなが入力できるようになります。
[Alt]＋[半角/全角]を押すごとに、ひらがなの入力とアルファベットの入力が切り替わります。

②ローマ字のつづりでキーを押すと、ひらがなで入力されます。
(例)[M][A][T][U][S][I][T][A]と押す。　まつした

③漢字に変えるときは[変換]を押す。　松下

④[Enter]を押す。（文字が確定される）　松下

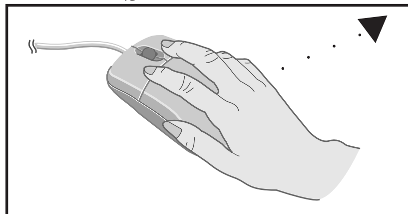
＜文字を間違えたら＞
[Back space]を押すと、右端の文字から消すことができます。

まつして　→　まつし

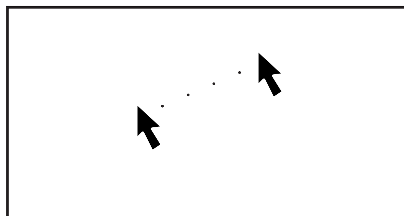
マウスの使いかた（詳しくは→ 16 ページ）

マウスを軽く握り、滑らせるように動かすと、マウスの動きに合わせて画面上の矢印が動きます。動かすスペースがなくなったら、マウスをいったん持ち上げて適当な場所に置き直し、操作を続けてください。

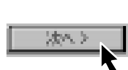
マウスの動き



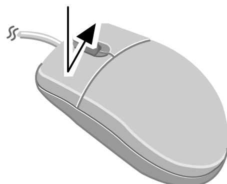
画面上の矢印（ポインター）の動き



＜ クリック のしかた＞
画面上の矢印（ポインター）を選択したい項目にあわせて、左ボタンをカチッと１回押す。*



→



*操作によっては右ボタンを押すことがあります。（「右クリック」といいます。）

間違って「次へ」をクリックし、次の画面に進んでしまったら

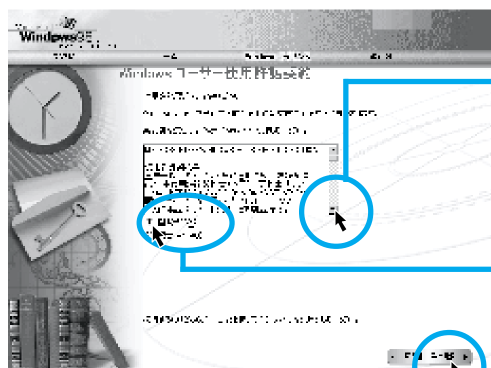
あわてずに、[戻る]に矢印をあわせてクリックします。１つ前の画面に戻ります。

操作中に画面が真っ暗になったら

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作をせずに約20分間置いておくと自動的に画面の表示を消し、電力の消費を抑えます。いずれかのキーを１回押すかマウスを動かすと、元の画面に戻ります。ただし、ほかの人が電源コードを抜いてしまうなどの事故を防ぐため、セットアップの途中でコンピューターを放置することは絶対にやめましょう。

電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

4 「使用許諾契約」をよく読む。



❶ クリック して、最後まで読む。

❷ 「同意する」を クリック

❸ [次へ]を クリック

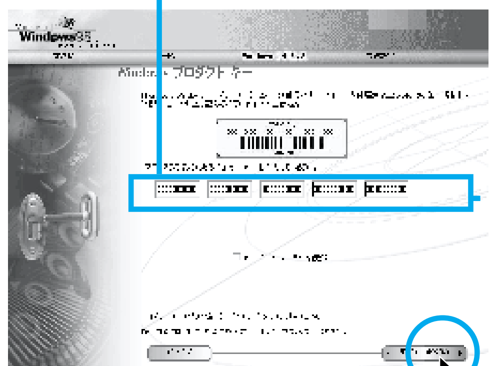
◀ ▼をクリックすると、下方にある文章が表示されます。

◀ 「同意する」の文字、または、左横の○をクリックすると、◉になります。

◀ 「同意しない」を選ぶと、Windowsのセットアップが中止されます。

5 「プロダクトキー」を調べて、入力する。

❶ 『ファーストステップガイド』の表紙に記載されている番号とアルファベットを入力する。



❷ [次へ]を クリック

プロダクトキーの入力

- そのままキーを押すと、アルファベットを入力できます。
- 「０」（ゼロ）と「Ｏ」（オー）、「1」と「I」(アイ)は似ているので間違えないように気をつけましょう。
- ハイフン（-）は必要ありません。５桁を入力したら自動的に右横の枠にカーソル（I）が移動します。

「入力したプロダクトキーは無効です」という表示が出たら

①[プロダクトキーを再入力する]をクリックし、[次へ]をクリックします。
②プロダクトキー入力画面に戻りますので、訂正する文字の右をクリックします。（カーソル(I)が表示されます。）
③ Back space を押して文字を消し、入力し直してください。

用 語

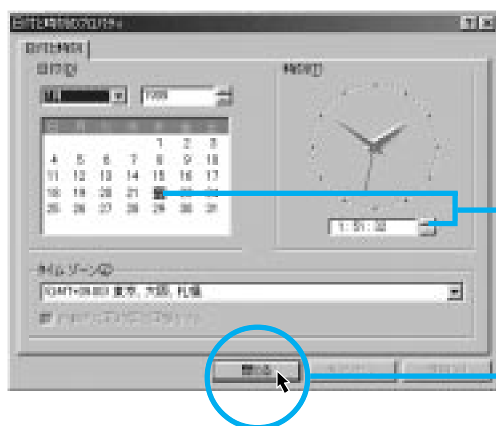
プロダクトキー　：コンピューターの識別番号です。
使用許諾契約　：Windowsを使用するにあたって、不正な行為を行わないように約束するためのものです。（不正な行為とは、Windowsをコピーして第3者に渡すことなどをいいます。）

6 Windowsのセットアップを完了する。



[完了]を
クリック

7 日付と時刻を確かめる。



1 日付、時刻が正しく設定されていない場合は、修正する。

2 [閉じる]を
クリック

Windowsの画面が表示されます。

8 次ページを参照し、いったん電源を切る。

日付、時刻を修正する場合

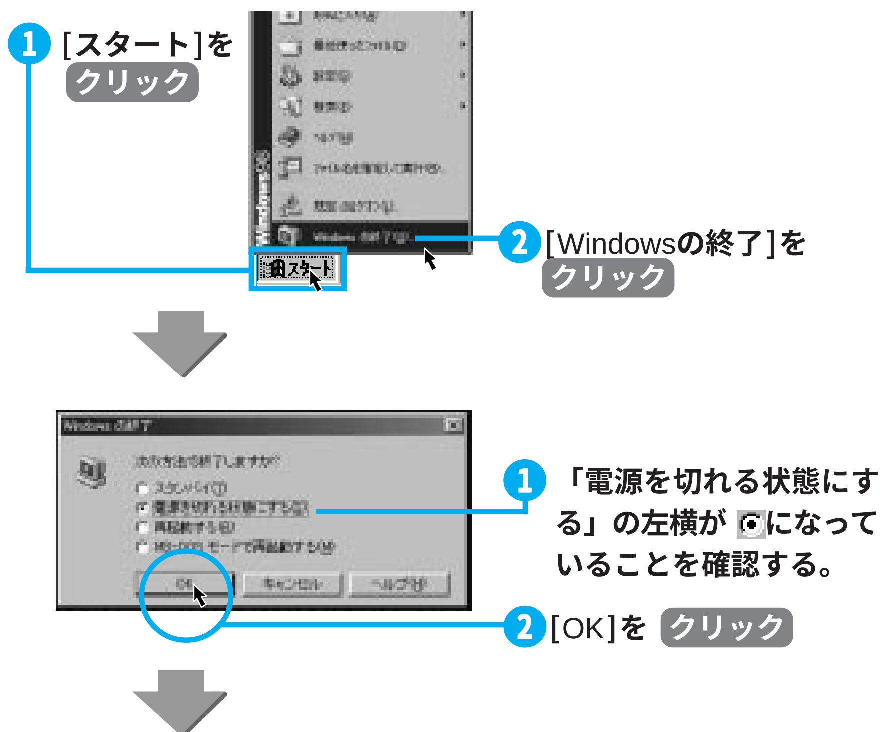
・日付はカレンダー上で正しい日付をクリックしてください。

・時刻は時：分：秒の順に正しい数字を入力してください。

◀設定後に変更が必要になった場合は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[日付と時刻の設定]をダブルクリックして日付や時刻の設定を変更してください。

正しい電源の切りかたを覚えましょう

電源を切るときは、必ず下記の手順に従って「Windowsの終了」操作を行ってください。また、アプリケーションを使用した場合、データを保存し、そのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。



「しばらくお待ちください」と表示された後、自動的にコンピューターの電源が切れます。（電源表示ランプが消灯します）

◀終了操作を正しく行わなかった場合、入力したデータは消え、コンピューターの中身が壊れることがあります。

キーボードを使って「終了する場合」  を押して「スタート」メニューを表示し、[Windows の終了]を選びます。

◀◉になっていない場合
「電源を切れる状態にする」の文字、または左横の○に矢印を合わせてクリックします。

お願い

電源を切ってから、次に電源を入れるまでに10秒以上あけてください。

しばらく操作を中断するときは

作業中にしばらく席を外すときは、コンピューターを「休止状態」にしておくと便利です。「休止状態」にすると、作業中の状態が本体内に一時的に記憶され、コンピューターの電源が「切」の状態になります。次に電源を入れたときには前回の作業状態が呼び出され、すぐに作業を再開できます。（→『活用編（本体）』「「休止状態」機能について」）

パワーボタン制御プログラムについて

タスクバー（→15ページ）に「パワーボタン制御プログラム」のアイコン が表示されている場合、電源ボタンを押すだけで「Windowsの終了」操作ができます。ただし、次の場合は、電源ボタンを押さないでください（強制終了されます）。

- タスクバーに が表示されていないとき*
- 省電力機能のため画面が消えた状態のとき
  （→『活用編（本体）』「省電力機能について」）
- MS-DOSモードまたは「Command prompt only」で起動している場合

* を終了してしまった場合は、再度コンピューターを起動すると表示されます。

用 語

アプリケーションソフト：文章を作ったり、お絵描きをしたり、インターネットで情報を見たり、いろいろな働きをするように組まれたプログラムの総称。ワードパッド（→17ページ）なども文書作成のアプリケーションの１つです。

電源を入れましょう（2回目以降）

ここでは、Windowsのセットアップ完了以降の電源の入れかたについて説明します。プリンターなど周辺機器を接続している場合には、電源の入れかたに順番があります。

1 プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、各周辺機器の電源を入れる。

2 電源ボタンを約1秒間押す。

電源表示ランプが点灯したことを確認して、手を離してください。しばらくすると、Windowsの画面が表示されます。



電源ボタン

電源表示ランプが緑色に点灯する。

Windows のセットアップ
→7ページ

周辺機器について
『活用編（本体）』「拡張」をご覧ください。また、各周辺機器に付属の説明書もご覧ください。

「パスワードを入力してください」が表示されたら
セットアップユーティリティーで設定しているパスワードを入力してください。（→『活用編（本体）』の「セットアップユーティリティー」）

ウィンドウズ入門

Windowsの画面を見てみましょう

電源を入れて最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。デスクトップの「アイコン」や左下の「スタート」メニューからいろいろな機能を起動することができます。

<アイコン>

よく使う機能を選び出し、絵で表示したもの。
アイコンをダブルクリック（→16ページ）すると「スタート」から選ぶより短い手順でアプリケーションを起動したり、フォルダー（→21ページ）を開いたりすることができます。
下記に一部のアイコンをご紹介します。



マイコンピュータ（→28ページ）
コンピューター本体の中身や設定を見ることができます。



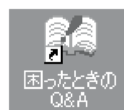
マイドキュメント（→21ページ）
アプリケーションソフトなどで作ったファイルを保存しておくフォルダー（→21ページ）です。



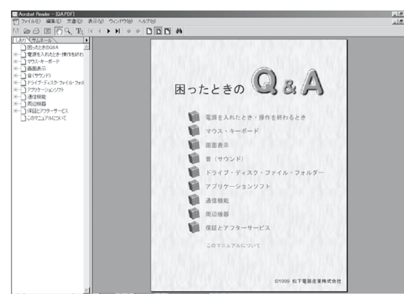
ごみ箱（→30ページ）
いらなくなったファイルやフォルダーをここに捨てると削除したことになります。



インターネットスターター
（→『活用編（アプリケーション）』）
プロバイダー「Hi-HO」（接続会社）への加入と通信の設定を自動で行うことができ、簡単にインターネットが始められます。

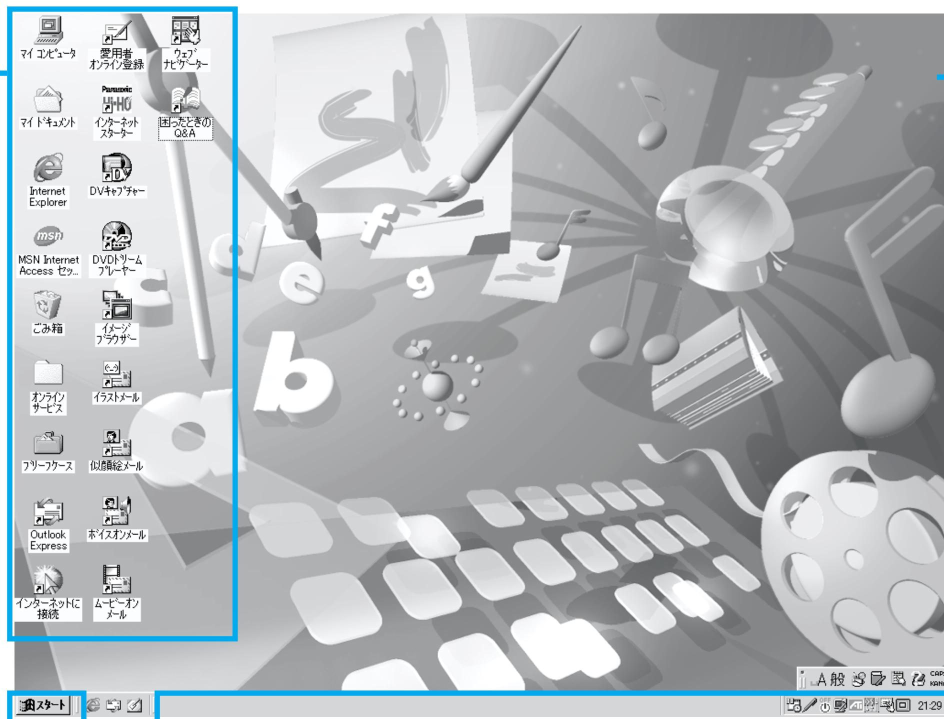


困ったときのQ&A
（→『活用編（本体）』「オンラインマニュアルの見かた」）
本機が思ったように動かないときなどの対処方法をQ&A形式で説明しています。画面上ですぐに表示できるので便利です。



ウィンドウズ入門

＜デスクトップ＞



デスクトップの背景（壁紙）を好みのものに変更することができます。
（→『活用編（本体）』の「画面についての設定」）

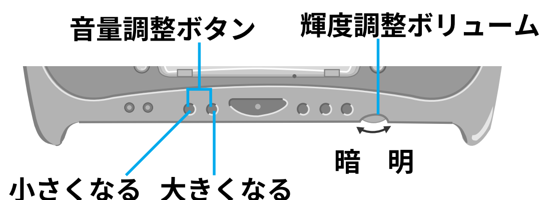
＜タスクトレイ＞
日本語入力などのアイコンが並んでいます。

＜タスクバー＞
起動しているソフトや開いているウィンドウの名前が表示されます。

＜スタート＞
コンピューターの設定を行ったり、アプリケーションソフトを起動したり、このメニューからいろいろな作業を始めることができます。

ウィンドウズ入門

音量が大きい（小さい）・画面が見にくいと感じたら



マウスの使いかた

基本操作

次ページからの「使ってみましょう」では、下記のようなマウスの操作を具体例を通して体験することができます。

機 能	操 作
操作の対象となるものの選択、操作の実行	クリック　左ボタンをカチッと１回押す。
アプリケーションの起動など関連づけられた操作の実行	ダブルクリック　（かち かちっ）　左ボタンをすばやく２回押す。
画面や矢印の位置にあるものの移動、範囲の指定	ドラッグ（押したまま移動）→ ドロップ（離す）　左ボタンを押したまま、マウスを動かし、離す。（ドラッグ&ドロップ）

進んだ使いかた（スクロールボタン）

ホームページなどの大きな文書を読むときに、画面の外に隠れている部分を見えるようにしたり（スクロール）、表示を拡大、縮小することができます。

機 能	操 作
スクロール 文書を上下方向にスクロールする。	スクロールボタンを前後にスライドさせる。スライドしたまま保持すると、連続してスクロールができます。（スクロールボタン）
オートスクロール 文書を上下、または左右方向にスクロールする。	①スクロールボタンをクリックし、 ②マウスを動かす。
ズーム 文書の表示を拡大、縮小する。	Ctrl を押しながらスクロールボタンを前（ズームイン）、または後（ズームアウト）にスライドさせる。

◀アプリケーションソフトによっては対応していない場合があります。

◀スクロールバーが表示されている画面で有効です。

◀マウスを動かす速さでスクロールします。

オートスクロールを解除するには画面の空いているところに矢印を移動してクリックします。

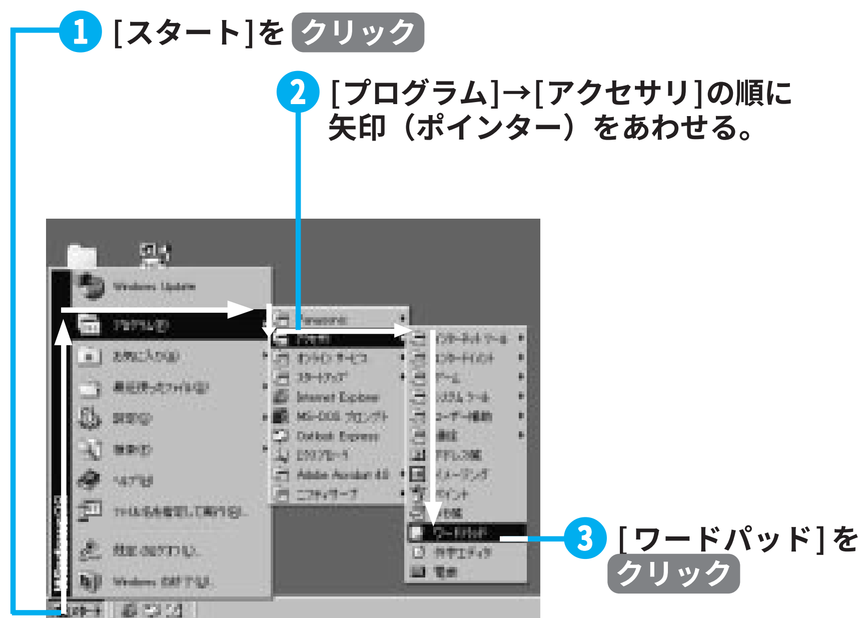
使ってみましょう

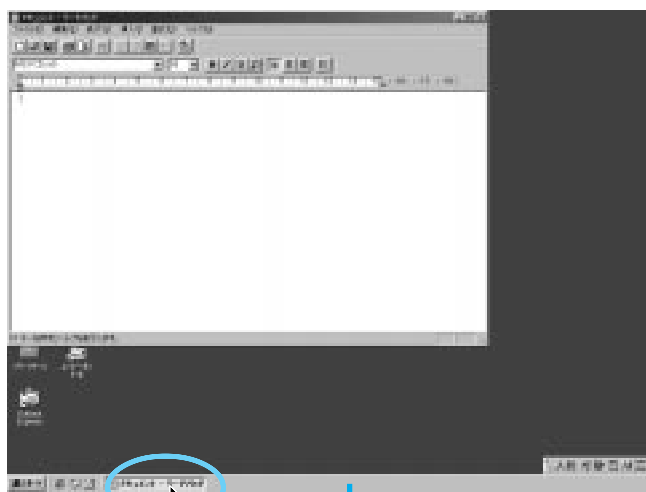
文書を作るワープロソフト「ワードパッド」を例にして、アプリケーションの起動と終了・文字の入力・保存など、操作の基本を説明します。

アプリケーション（ワードパッド）の起動

アプリケーションは、「スタート」メニューから始めます。

1 ワードパッドを起動する。





元の画面に戻すときはタイトル名を クリック

◀スタートメニューについて



右向きの三角は、そのメニューの中にさらにサブメニューが用意されていることを示します。

◀左図の白い矢印通りに、マウスを動かしてください。

◀ワードパッドのウインドウが表示されます。画面下部のタスクバーに、起動中のソフトのタイトル（この場合、「ドキュメント-ワードパッド」）が表示されます。

◀画面例と実際は一部異なる場合があります。

文字の入力

日本語(全角)と英数字(半角)の切り換え

Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。(画面右下の表示で確認できます。)

日本語入力モード



英数字入力モード



◀英数字入力モードでは、日本語入力モードで入力される幅（全角）の半分の幅（半角）で入力されます。

入力方法について

かなの入力方法には「ローマ字入力」と「かな入力」があります。
日本語入力モードで Alt ＋ カタカナ/ひらがな を押すごとに、入力方法が切り換わります。(画面右下の表示で確認できます。)

◀工場出荷時はローマ字入力です。

ローマ字入力



かな入力



<ローマ字入力>
ローマ字のつづりで「HANA」と押すと、「はな」と入力されます。

H A N A → はな

ローマ字入力の特徴
主にA～Zを使うのでキーの場所は覚えやすいが、キーを押す回数が多い。

<かな入力>
ひらがなで「はな」と押すと「はな」と入力されます。

は な → はな

かな入力の特徴
あ～んのキーを使うので、キーの場所を覚えるのに時間がかかるが、キーを押す回数は少ない。

キーの打ち分け

<左半分の文字>	<右半分の文字>
・英数字入力モード ・日本語入力モード （英数字入力時）	・日本語入力モード （かな入力時）
そのまま押す*1 — A	ち — そのまま押す*2
Shift を押しながら押す — {	「 — Shift を押しながら押す
そのまま押す — [	。 — そのまま押す

*1 Shift を押しながら押すと、英大文字を入力できます。
*2 Shift ＋ カタカナ/ひらがな を押すとカタカナに切り換わります。カタカナ/ひらがな を押すと、ひらがなに戻ります。

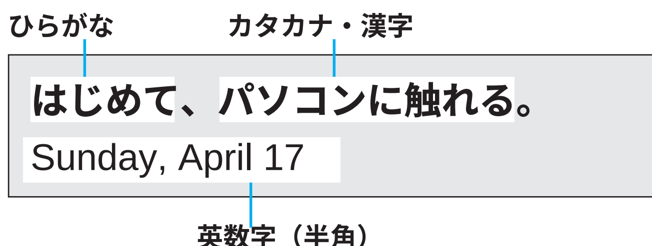
◀打ち分け方法が左記にあてはまらない場合や、キーボード上の文字が入力できない場合は （→『活用編（本体）』「困ったときのQ&A」）

チルダー（~）の入力

・チルダー（~）は、英数字入力モードにして Shift ＋ ~ を押します。

例文の入力

電子メールやワープロソフトを楽しむために入力の練習をしてみましょう。



◀ワードパッドを使い、ローマ字入力で説明します。

＜ひらがな＞

1 画面右下の表示を確認する。

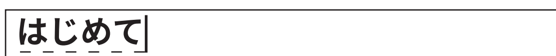


（画面右下の表示）

日本語入力モード　ローマ字入力

◀日本語入力モードになっていない場合は、前ページを参照して切り換えます。

2 H A J I M E T E を押す。



カーソル（I）の位置に文字が入ります。

3 読点「、」は <、ね をそのまま押し、Enter を押す。



文字が確定します。

＜カタカナ・漢字＞

4 P A S O K O N N N I H U R E R U と押し、変換 または (スペース)を押す。



5 句点「。」は >。る をそのまま押し、Enter を押す。



6 行を変える。

Enter を押す。





カーソル（I）の移動

- ← → ↑ ↓ で移動することができます。
- カーソル（I）は、文字の入力範囲でのみ動きます。
- マウスを動かして画面上のポインター（I）を目的の位置に移動し、クリックすると、カーソル（I）を離れたところにすばやく移動できます。

間違えたら

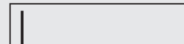
- Back space を押すと、カーソル（I）の左の文字が消えます。
- 間違えて 変換 を押した場合、Esc を押すと、一つ前の状態に戻すことができます。



→ Esc →

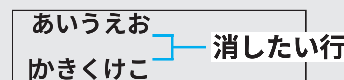


→ Esc →

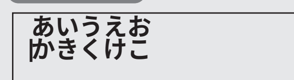


- Enter を押しすぎたら、行の先頭で Back space を押します。

①カーソルを行頭に移動して、



② Back space



使ってみましょう

<英数字（半角）>

1 Alt ＋ 半角/全角 を押し、英数字入力モードに切り換える。



2 大文字の「S」は、 Shift ＋ S を押す。
小文字はそのままキーを押す。
コンマ「,」は ＜ , ね を押す。

はじめて、パソコンに触れる。 Sunday, April 17

3 Alt ＋ 半角/全角 を押し、日本語入力モードに戻す。



大文字を続けて入力するには

Shift ＋ Caps Lock を押した後、そのままキーを押します。



再度 Shift ＋ Caps Lock を押すと、小文字の入力に戻ります。

日本語入力モードで英字(全角)を入力するには

Caps Lock を押し、画面右下の表示を下記のように切り換えます。



ひらがなの入力に戻す場合は、カタカナ/ひらがな を押します。

目的の漢字が出ないとき

・読みを入力して、 変換 を２回押すと、同じ読みの漢字一覧が表示されます。さらに 変換 を押して目的の漢字を反転させ、 Enter を押します。



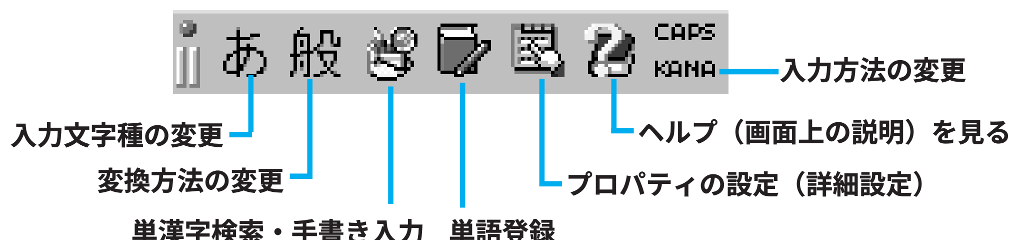
・変換中にひらがなに戻すには、 F6 （ひらがな）、または 無変換 を押します。

・変換中にカタカナにするには、 F7 （カタカナ）、または 無変換 を押します。

変換で出せる記号(代表例)

欧文・学術・ギリシア文字・一般記号（アッパーバー（￣）、々など）は、記号の一覧から入力できます。
①読みを「きごう」と入力し、変換（２回）。
②表示される記号の一覧の中から選ぶ。

画面右下の表示をクリックしても、入力文字などを切り換えられます

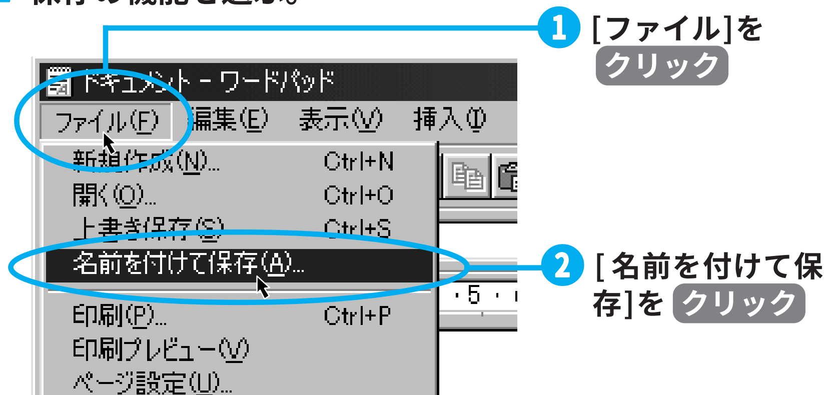


ウィンドウズ入門

文書の保存

このままワードパッドを終わってしまうと、せっかく入力した文章が消えてしまいます。コンピューター本体に保存しておきましょう。

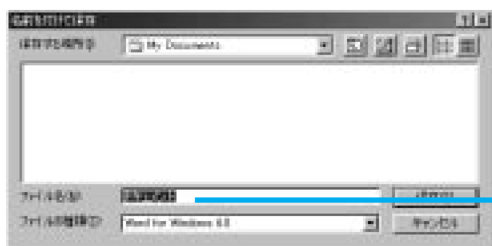
1 保存の機能を選ぶ。



❶ [ファイル]を クリック

❷ [名前を付けて保存]を クリック

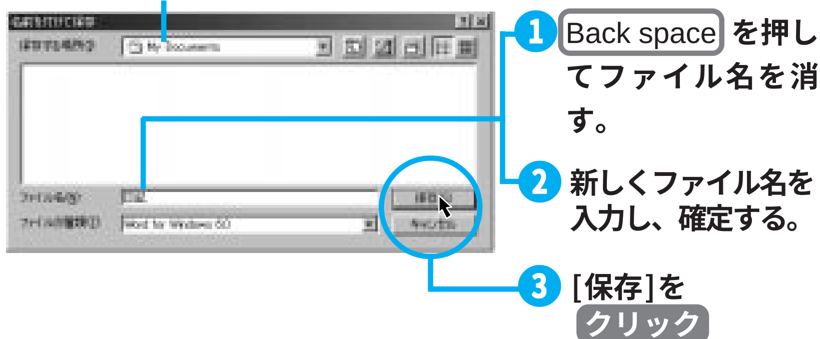




「ファイル名」が反転表示されているのを確認する。

2 ファイル名を入力し、ファイルを保存する。

保存する場所



❶ Back space を押してファイル名を消す。

❷ 新しくファイル名を入力し、確定する。

❸ [保存]を クリック

3 ウィンドウ左上のファイル名表示が、「日記」になっていることを確認する。



ファイル(文書)とファイル名

- 1行の文章であっても、1つの「ファイル(文書とも呼ぶ)」として「ファイル名」を付けて保存します。
- ファイル名には、次の記号を使用できません。

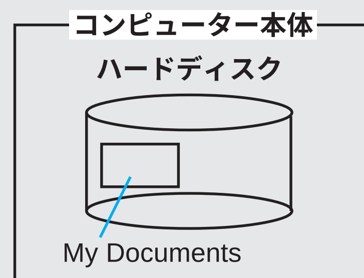
¥／<>,:;|?*”

◀初めは、任意のファイル名が表示されています。

文字の入力のしかた
→18ページ

保存する場所

保存場所を指定しない場合、ファイルは、コンピューター本体内の「ハードディスク」の「My Documents(マイドキュメント)」という「フォルダー(整理箱)」に保存されます。



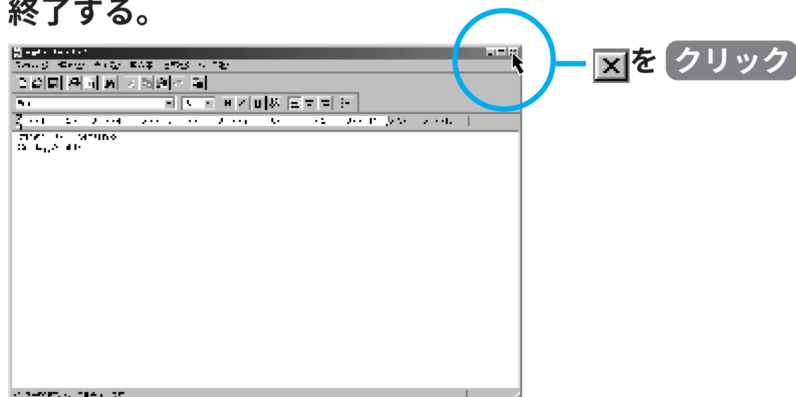
新たにフォルダーを作り、その中に保存することもできます。(→30、31ページ)

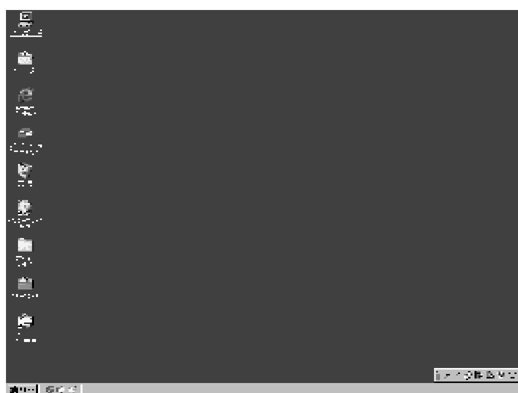
ウィンドウズ入門

アプリケーション（ワードパッド）の終了

いったん、終了してみましょう。

1 終了する。





ほかの終了方法
画面左上の[ファイル]をクリックし、[ワードパッドの終了]をクリックします。

◀ ワードパッドのウィンドウが閉じ、デスクトップの画面が表示されます。

電源を切るには
→ 12 ページ

操作中にメッセージが表示されたら

メッセージの内容をよく読み、指示に従ってあわてずに操作してください。
例えば、入力内容を保存せずにアプリケーションを終了しようとしたときには、下記のようなメッセージが表示されます。（メッセージはアプリケーションによって異なります。）



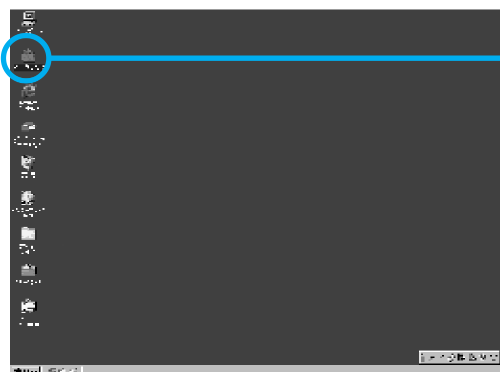
- 保存して終了するとき　　：[はい]をクリック。
- 保存せずに終了するとき　：[いいえ]をクリック。
  この場合、入力した内容がすべて消えてしまいますので、よく確認して操作をしてください。
- 終了せずに元の画面に戻るとき　：[キャンセル]をクリック。

文書の呼び出し（ファイルを開く）

保存した文書を画面上に呼び出すことを「ファイルを開く」といいます。ファイルを開くには、いくつかの方法があります。ここではフォルダーに保存したファイルを直接指定して開く方法を説明しましょう。

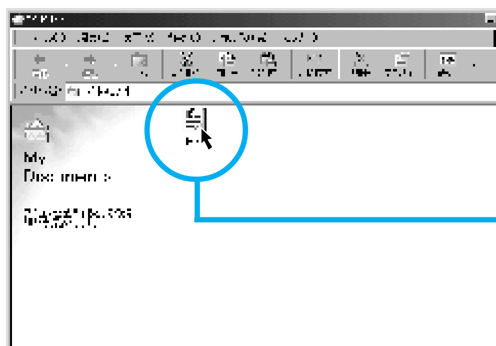
1 デスクトップ画面が表示されているのを確認する。

2 フォルダーを開く。



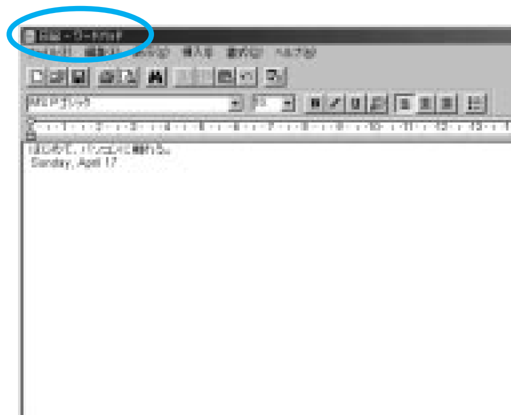
「マイドキュメント」アイコンに矢印をあわせてマウスの左ボタンをすばやく２回押す。
（ダブルクリック）

3 ファイルを開く。





ファイルのアイコンに矢印をあわせて
ダブルクリック



ファイルを開くほかの方法
ワードパッドを起動し（→17ページ）、画面左上の[ファイル]→[開く]を順にクリックして、呼び出すことができます。

◀まず、「マイドキュメント」フォルダーを開いて、その中に保存されているファイルの一覧を画面に表示させます。

◀以降の手順で ダブルクリック と書かれていたら、左記の操作をしてください。

◀ワードパッドが自動的に起動し、文書が呼び出されます。ウィンドウ左上にファイル名（ここでは「日記」）が表示されます。

文書の書き換え

1行目にタイトルを追加し、保存し直しましょう。

1 1行目の前に2行挿入する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

1行目の先頭にカーソル(I)があるのを確認する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

Enter を2回押す。

2 タイトルを入力する。

今日の出来事

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

↑ を2回押してカーソルを文頭に移動し、入力、確定する。

3 下線を引く範囲を指定する。

今日の出来事

ここにポインター(I)を移動して、マウスの左ボタンを押し、

今日の出来事

左ボタンを押したまま下線を引く文字を反転表示させる。(ドラッグ)

4 下線を引く。

簡易メニューの[U]を クリック

今日の出来事

画面の空いているところをクリックすると、反転が消え、下線を確認できます。

5 上書き保存する。

1 [ファイル]を クリック

2 [上書き保存]を クリック

文字の入力
→18ページ

ドラッグに失敗したら
画面の空いているところにポインターを移動して左ボタンを押します。

◀以降の手順で ドラッグ と書かれていたら、左記の操作をしてください。

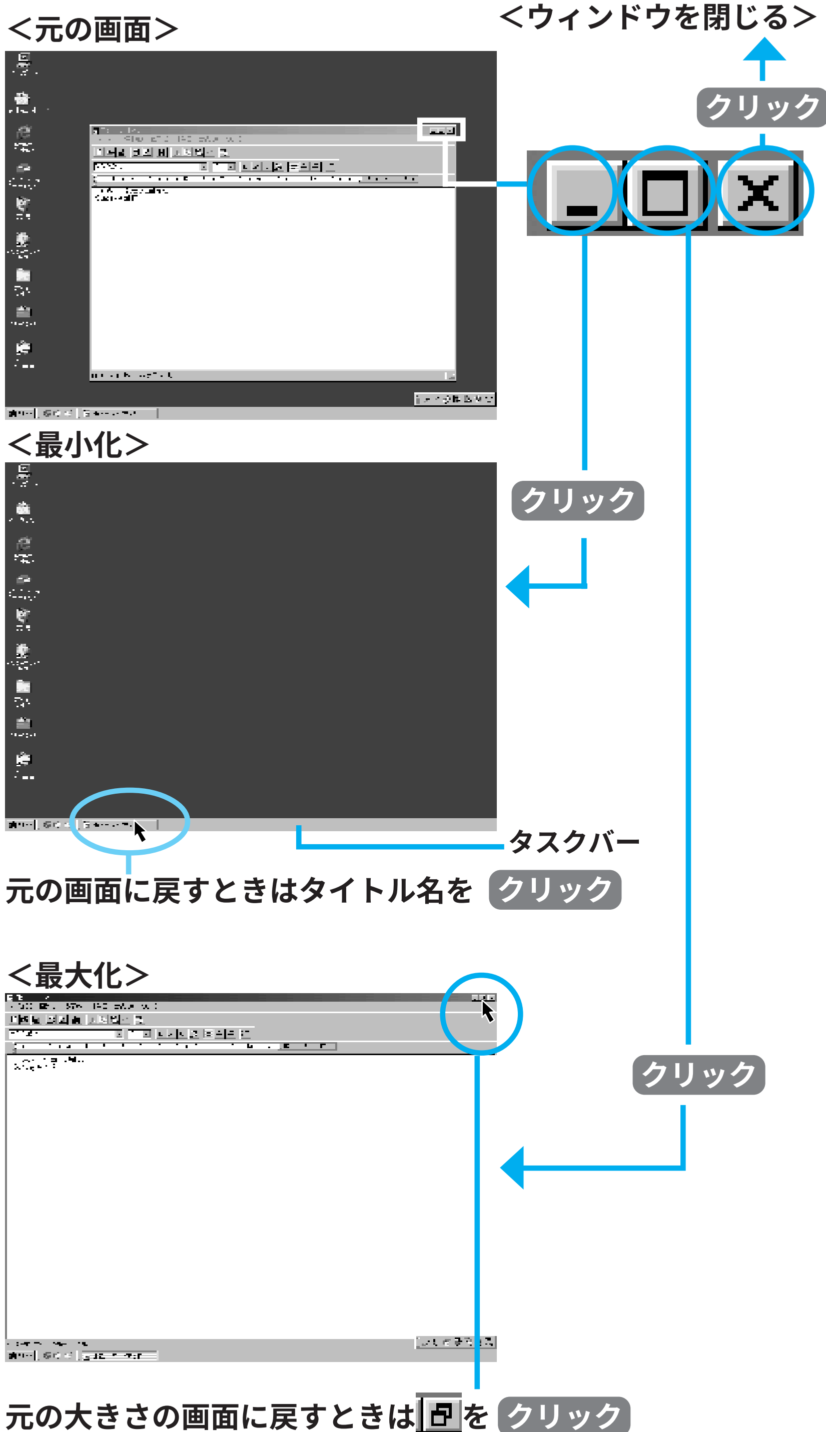
簡易メニュー
簡易メニューは「ファイル」や「編集」の中からよく使う機能を選び出してアイコンにしたものです。各アイコンに矢印を合わせて少し待つと、アイコンが持つ機能名が表示されます。

「上書き保存」と「名前を付けて保存」
元の文書を、表示中の内容に置き換えるときは「上書き保存」、別の文書として新たに保存する場合は「名前を付けて保存」(→31ページ)を選びます。(上書き保存をしても、画面上は何の変化もありません。)

ウィンドウの操作

Windowsは、その名の通りいくつもの機能のウィンドウ（画面）を開いて操作することができます。ここでは、複数個のウィンドウをうまく切り換えて使用する方法を説明します。

ウィンドウを隠す（最小化）/ 最大にする（最大化）



最小化

最小化を選ぶと、ウィンドウがタスクバーに吸い込まれるように消え、タイトル名だけが表示されます。

お願い

最小化した場合、ウィンドウは一時的に閉じただけで、ソフトを終了したのではありません。
ソフトを終了するときは、ウィンドウを元の大きさに戻して閉じてください。

最大化

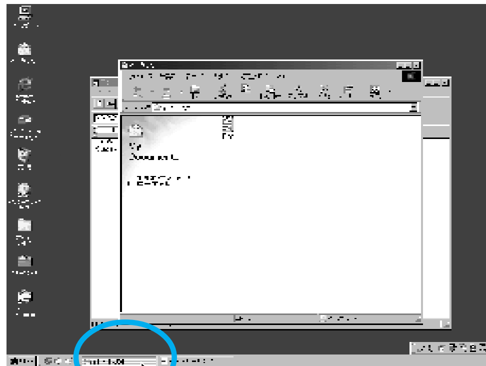
最大化を選ぶと、ウィンドウが画面いっぱいに表示されます。

ウィンドウズ入門

使ってみましょう

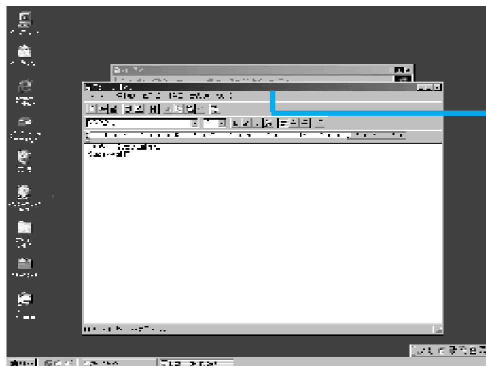
ウィンドウの重なりかたを変える

操作したいウィンドウを一番手前に表示する方法です。



目的のウィンドウのタイトルを クリック

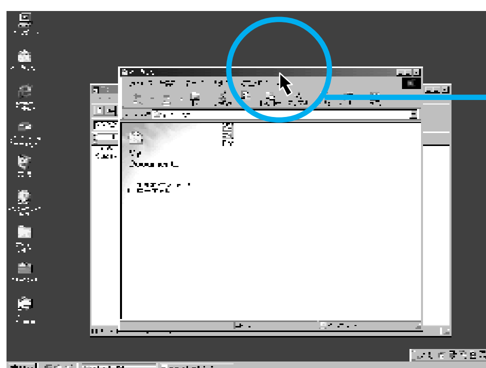
◀手前にしたいウィンドウが見えている場合は、その上に矢印を移動してクリックしても手前に表示することができます。



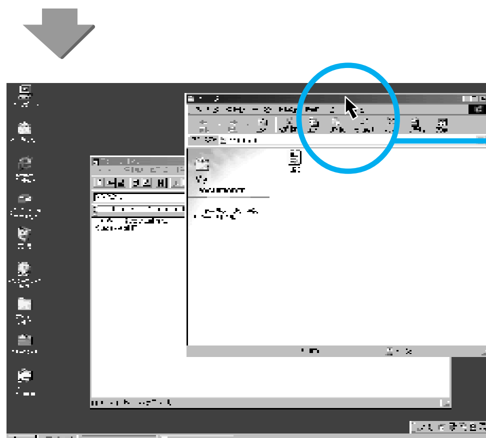
タイトルバーが青色になる。

◀タイトルバーが青色になり、そのウィンドウがアクティブ（操作対象）になります。

ウィンドウの位置をずらす



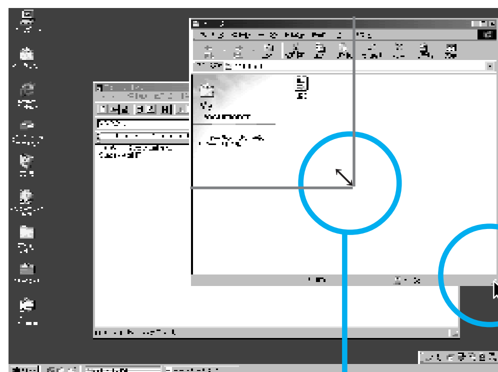
タイトルバーに矢印をあわせ、左ボタンを押し、押したままマウスを動かす。
（ ドラッグ ）



目的の位置で左ボタンを離す。

ウィンドウズ入門

ウィンドウの大きさを変える



❶ ウィンドウの上下左右のいずれかの端、または角にポインター（矢印）をあわせる。

❷ ポインターが↖や↔の形になったら、左ボタン押したままマウスを動かし、ちょうどよい大きさになったらボタンを離す。
（ドラッグ）

これで、ワードパッドを使った操作を終わります。
☒をクリックして、ワードパッドを終了しましょう。

電源を切るには
→ 12 ページ

スクロールバーによる操作

ウィンドウ内にすべての内容を表示できないときは、下記のようなスクロールバーが表示されます。スクロールバーを操作して表示位置をずらし、ウィンドウの外に隠れている部分を表示できます。



スクロールバー

▲ をクリックすると上のほうが見える。

上下にドラッグすると、すばやく画面を動かせる。

▼ をクリックすると、下のほうが見える。

左右のスクロールバーも、上下の場合と同様に操作できます。

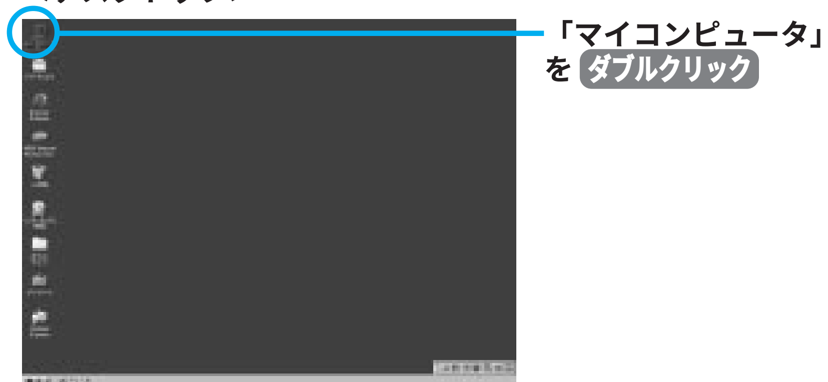
マウスのスクロールボタンを使っても同様にスクロールをすることができます。（→16ページ）

コンピューターの中身をのぞいてみましょう

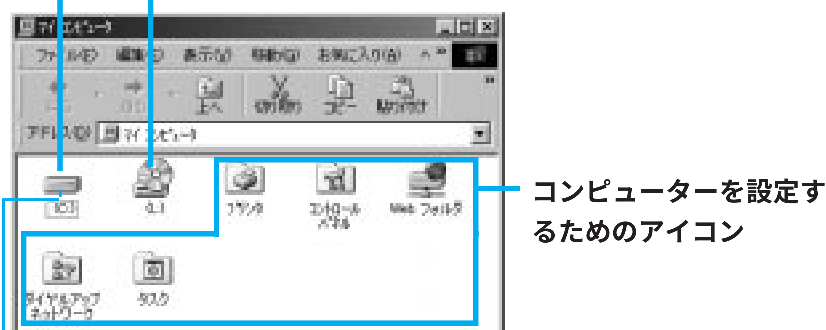
「マイコンピュータ」の開きかた

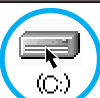
デスクトップから「マイコンピュータ」を開くと、コンピューターの中身をのぞくことができます。

<デスクトップ>



<マイコンピュータ>





<Cドライブ>



マイコンピュータの中身

「マイコンピュータ」は、下記のようなドライブで構成されています。ドライブとは、ディスク（円盤状の記憶媒体）にデータを記録したり、呼び出したりする装置です。

ドライブの種類

- ハードディスクドライブ
  本体内のハードディスクにデータを読み書きします。
  通常、画面上では（C：）と表示されます。
- DVD-ROM ドライブ
  CD-ROM や DVD-ROM のデータを読み出します。工場出荷時、画面上では（L：）と表示されます。（→『活用編（本体）』の「DVD-ROM ドライブについて」）

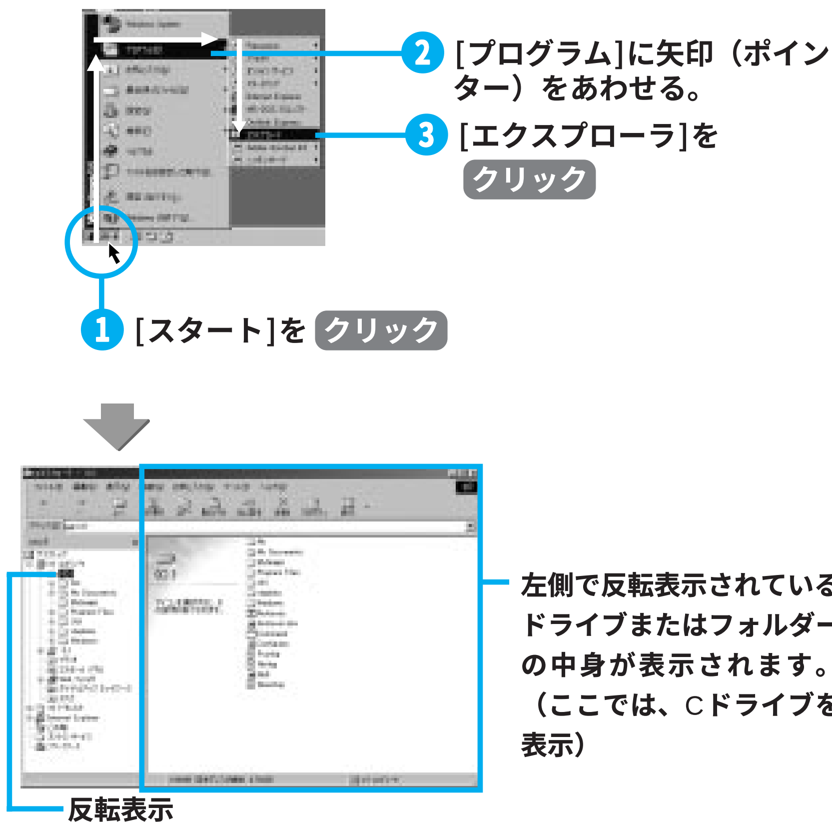
お願い

Cドライブには、コンピューターに必要なシステムやアプリケーションのフォルダーとファイルが保存されています。誤って削除、変更しないように気を付けてください。

「エクスプローラ」の使いかた

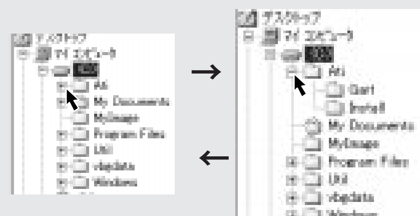
「エクスプローラ」を使うと、「マイコンピュータ」とは違った表示の方法でコンピューターの中身を見ることができます。

1 「エクスプローラ」を起動する。

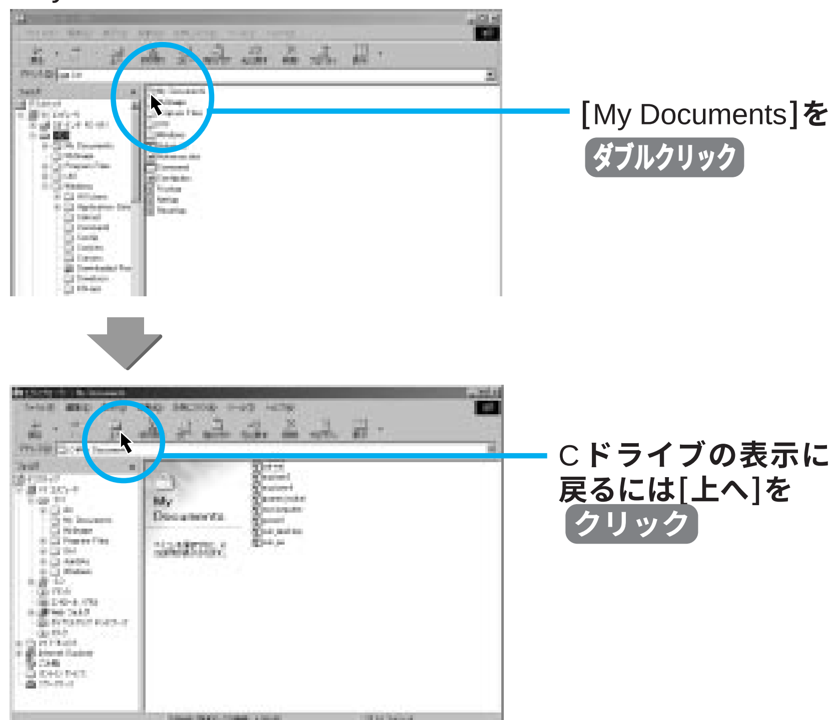


◀左図の白い矢印通りに、マウスを動かしてください。

◀⊞と⊟のマークについて
⊞をクリックすると、中にあるフォルダーが表示され、⊞が⊟になります。⊟をクリックするとその中のフォルダーが表示されなくなり⊞になります。



2 「My Documents」フォルダーを開く。

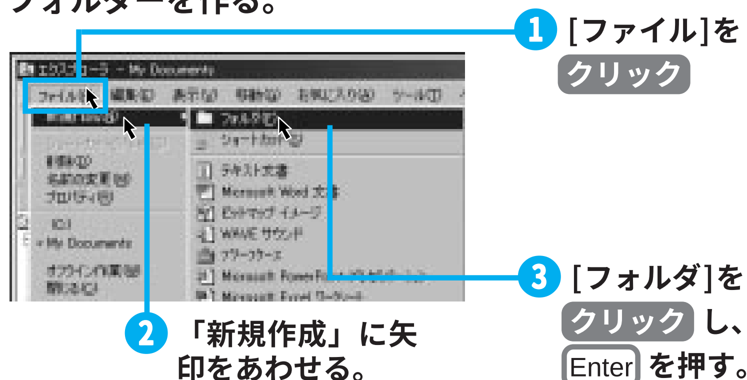


新しいフォルダーの作りかた

「エクスプローラ」を使って「My Documents」フォルダーの中に、新しいフォルダーを作りましょう。

1 「My Documents」フォルダーを開く。（→前ページの1、2）

2 フォルダーを作る。

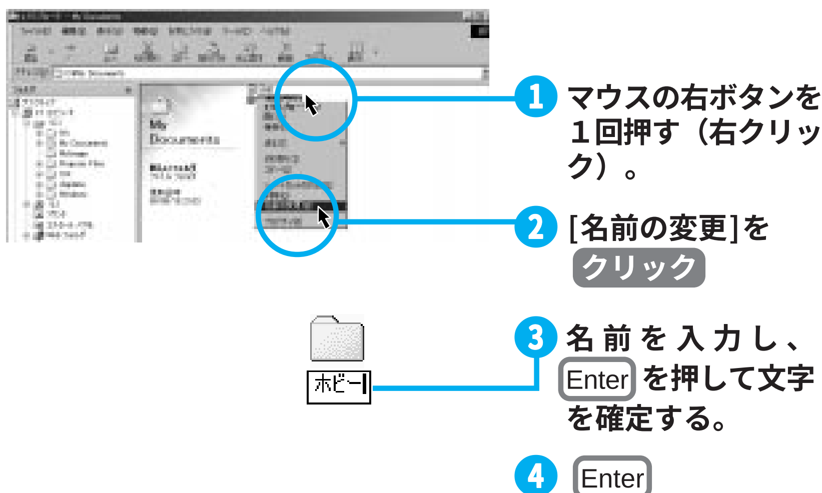


① [ファイル]を クリック

② 「新規作成」に矢印をあわせる。

③ [フォルダ]を クリック し、Enter を押す。

3 「新しいフォルダ」の名前を変える。



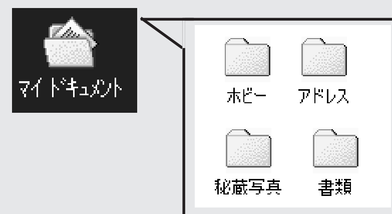
① マウスの右ボタンを1回押す（右クリック）。

② [名前の変更]を クリック

③ 名前を入力し、Enter を押して文字を確定する。

④ Enter

◀文書の内容ごとにフォルダーを作り、同じ種類のファイルをそれぞれのフォルダーに保存しておくと、管理しやすくなります。



新しいフォルダーの作成に失敗したら下記の「作ったフォルダーやファイルを消すには」をご覧ください。

◀ファイル名も同じ方法で変更できますので、覚えておきましょう。<u>元からコンピューターにあるフォルダーやファイルの名前は絶対に変更しないでください。</u>コンピューターが正しく動かなくなります。

日本語入力モードになっていないときは Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

作ったフォルダーやファイルを消すには

フォルダー、またはファイルをごみ箱（→14ページ）へ移動すると、消したことになります。（フォルダーを移動すると、中にあるファイルも消えます。）

<u>元からコンピューターに入っているフォルダーやファイルは絶対に消さないでください。</u>

Windowsを起動できなくなったり、コンピューターが正常に動作しなくなります。

①消したいフォルダーに矢印をあわせる。

②マウスの左ボタンを押したまま、「ごみ箱」上へ移動し、マウスの左ボタンを離す（ドラッグ＆ドロップ）。キーボードの Del を押しても消すことができます。



左ボタンを押したままマウスを動かすと、矢印といっしょにアイコンが動きます。

③削除を確認するメッセージが表示されるので、[はい]をクリックする。

（削除したファイルなどはしばらくごみ箱の中に保管されます。ごみ箱の中身を表示させるときは、ごみ箱に矢印をあわせてダブルクリックしてください。）

作ったフォルダーへの保存のしかた

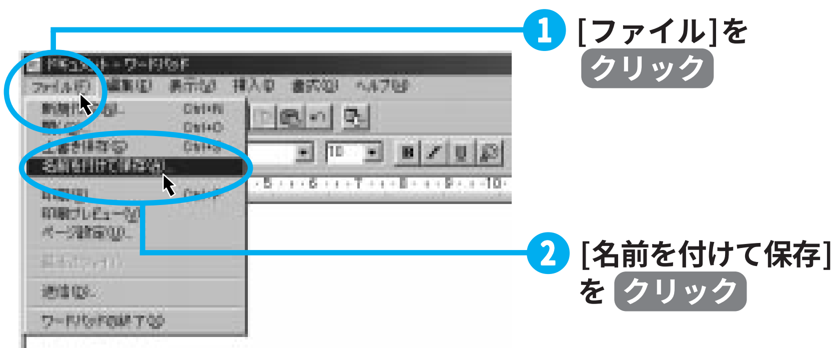
前ページで作ったフォルダーの中に、ファイルを保存します。

1 「ワードパッド」を起動する。 （→17ページ）

◀「ワードパッド」を例にして説明します。

2 名前を付けて保存する。

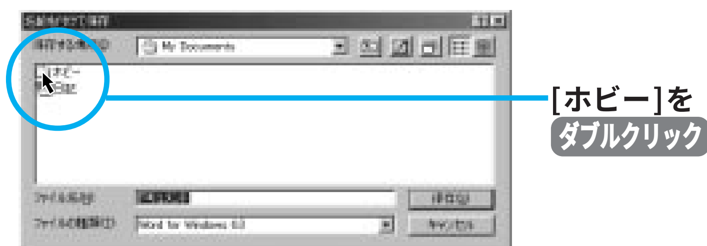
◀ここでは何も入力せずに、すぐに保存の練習をします。



1 [ファイル]を クリック

2 [名前を付けて保存]を クリック

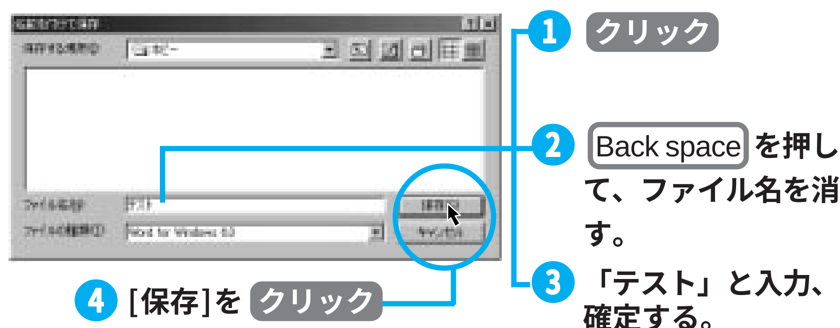
3 前ページで作った「ホビー」フォルダーを開く。



[ホビー]を ダブルクリック

◀左の画面で をクリックすると、一つ上のフォルダー（この場合、「My Documents」）に戻ることができます。

4 ファイル名を入力し、ファイルを保存する。



1 クリック

2 Back space を押して、ファイル名を消す。

3 「テスト」と入力、確定する。

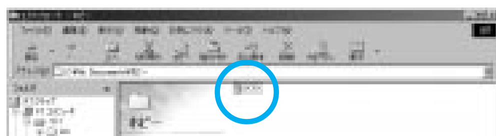
4 [保存]を クリック

日本語入力モードになっていないときは

Alt ＋ 半角 / 全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

5 ワードパッドを終わる。 （→22ページ）

6 保存できたことを確認する。



29ページを参照して「マイドキュメント」を開き、「ホビー」を開いてください。

これでひととおりの操作を終わります。この後は、『活用編（本体）』をよくお読みになったうえで、『活用編（アプリケーション）』でインターネットなどいろいろな機能をお楽しみください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic　パーソナルコンピューター　CF-E1　取扱説明書『セットアップ編』

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ1099-0

DFQM5324ZA